株式会社　イヌイエコシステム

2019 年度　環境経営レポート

（取組期間　2019 年10月1日～ 2019 年12月31日）

作成日：　2020年1月14日
更新日：　2020年2月18日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
認証･登録の対象組織･活動	4
環境経営組織図及び役割･責任･権限表	5
許可の内容	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し･指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

株式会社イヌイエコシステムは、気候温暖な紀泉山脈の麓にあり霊峰高野山を南に仰ぐ橋本市に位置します。
一般廃棄物･産業廃棄物処理および土木･建築事業に従事する企業です。
『私たちは顧客のご要望にお応えすることを通し、地域社会の発展に貢献』します。
まだまだ、新規参入企業であり発展途上です。前代表乾芳之が大切に掲げてきた『明るく･元気に･きれいに』を合言葉に、働くもの一同は力を合わせより良い会社づくりをすすめます。
お客様に感謝、顧客に感謝、従業員と家族に感謝し、これから先、100年続く企業をめざします。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

弊社は、一般廃棄物･産業廃棄物処理および建設事業を営むにあたって『安全安心に効率よくタイムリーにすすめる』ことを通じ、従業員一同が自主的･積極的に一丸となって環境保全のために継続的な改善をめざします。
環境省が提唱する中小事業者向けの環境マネジメントシステム『エコアクション21』の取組みを実践し、温暖化防止にチャレンジします。その一端を環境経営レポートにまとめました。みなさまのご賢察をお聞かせいただければと願います。

＜環境保全への行動指針＞

１． 環境関連法規制等及び当社が約束したことを遵守します。

２． 二酸化炭素の削減（電気および化石燃料）に努めます。

３． 受託再生資源の取扱量の向上に努めます。

４． 水資源保護のため適正な利用に努めます。

５． 顧客件数の拡大をめざします。

６． 会社周辺の清掃及び地域の環境保全活動に参加します。

７． この環境方針を公開し、全従業員に周知します。

制定日： 2019年10月1日

代表取締役社長 **乾 嘉晃**

□組織の概要

更新日：2019年10月9日

（1）名称及び代表者名
株式会社　イヌイエコシステム
代表取締役社長　乾　嘉晃

（2）所在地

本社（登記）	和歌山県橋本市神野々40番地の3
本社・中間処分場・積替え保管施設	和歌山県橋本市神野々40番地の3・45番地の22
建設発生土処分場	和歌山県橋本市神野々40番地の3・45番地の22

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	所長	窪田　裕亮	TEL：0736-39-7002
担当者	営業部	中山　翔太	

（4）事業内容
一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の収集運搬及び中間処分、土木工事・建設工事の施工

（5）事業の規模
法人設立　2006年平成18年2月
資本金　1,000 万円
売上高　1.60 億円　（2018年度）

	事務所	工場	収集運搬員	合計
従業員	6 名	2 名	6 名	14 名
面積	24 ㎡	438 ㎡		

受託した廃棄物の処理量（2019事業年度）

収集運搬量（一般廃棄物）	3,296 t	収集運搬量（産業廃棄物）	6,016 t
中間処分量（産業廃棄物）	468 t	うち再資源化量	452 t
他事業者への直送分	5,548 t		

車種	台数	備　考
パッカー車	5 台	4台（2ｔパッカー車）1台（4ｔパッカー車）
フックロール車	2 台	2台（3ｔ､4ｔフックロール車）各1台
ユニック車	1 台	1台（3ｔユニック車）
トラック	1 台	1台（1.75ｔトラック）
軽車両	2 台	1台（軽トラック）1台（乗用車）
合計	11 台	

主要設備

名称	台数	備考
減容圧縮機（金属・廃プラ）	1 基	廃プラ245.4kg/日、金属くず1459.2kg/日
タイヤシャベル	1 基	排ガス基準2014年適合車、低騒音型
フォークリフト	2 基	
ユンボ	3 基	排ガス基準2014年適合車、低騒音型 0.2m^3×1　0.25m^3×2

積替保管施設

保管面積	保管上限	備考
158.5m2	247.2m2	

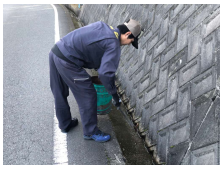
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　株式会社　イヌイエコシステム

対象事業所：　本社・工場（中間処分場）、建設発生土処分場

活動：　一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の収集運搬および中間処分、建設発生土処分、土木工事・建築工事の施工

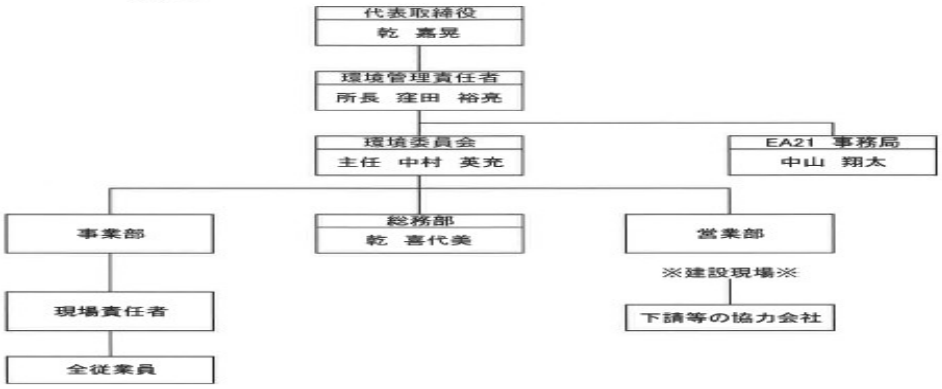
□事業の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年10月9日

組織図



	役割・責任・権限
代表取締役（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
事業部	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備　　考
和歌山県橋本市	第3号	平成30年3月6日	令和2年3月31日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
和歌山県	第0302126376号	令和1年8月28日	令和3年4月9日	有		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
奈良県	第02900126376号	平成28年4月28日	令和3年4月26日	無		○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	
大阪府	第02700126376号	平成28年4月24日	令和3年4月23日	無		○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	

（和歌山県　更新年月日　平成28年4月15日）

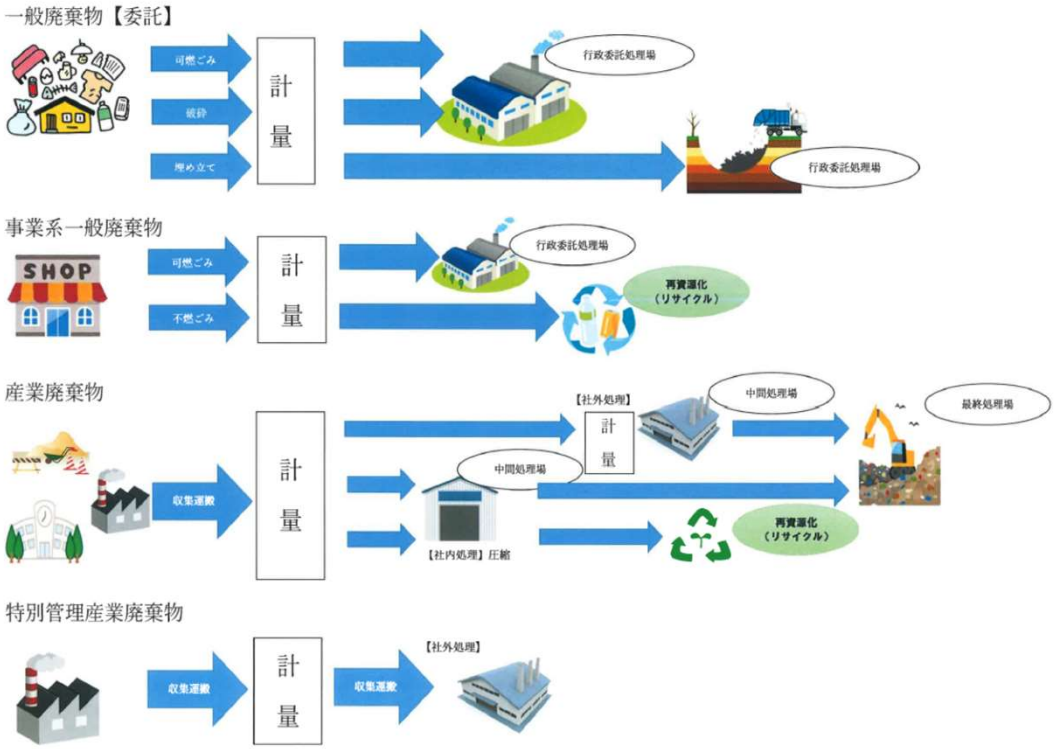
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					廃酸	廃アルカリ													
和歌山県	第03052126376号	令和1年8月5日	令和6年8月4日	無	○	○													

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類								
					廃プラスチック	金属くず							
和歌山県	第03022126376号	許可年月日	許可有効年月日	中間処理									
		平成29年5月2日	令和4年4月17日	圧縮	○	○							

□廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2		111,382	114,316
受託収集運搬量(産廃)	トン		6,403	6,000
受託中間処理量(産廃)	トン		485	452
受託最終処分量	トン		0	0
自らの廃棄物排出量	kg		993	1,083
一般廃棄物排出量	kg		993	973
産業廃棄物排出量	kg		0	110
水使用量	m^3		430	510

※二酸化炭素排出係数　0.418　kg-CO2/kWh　電力会社の調整後排出係数
※化学物質の使用はありません

□環境経営目標及びその実績

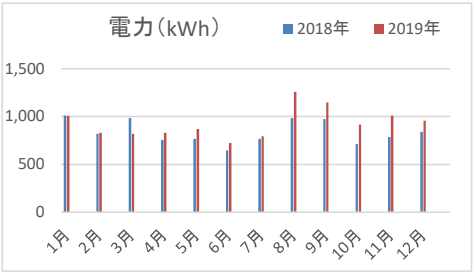
中段は取組活動期間2019年10月～12月

項目＼年度		基準値	2019年		評価	2020年	2021年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	4,200	4,158	4,668		4,116	4,074
	10～12月	975	965	1,205	×		
	3か月比	2018年	99%	124%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	107,182	106,110	109,648		105,038	103,966
	10～12月	31,003	30,693	29,516	○		
	3か月比	2018年	99%	95%		98%	97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	111,382	110,268	114,316		109,154	108,041
	10～12月	31,978	31,658	30,721	○		
	3か月比	2018年	99%	96%		98%	97%
自社の一般廃棄物の削減	kg	993	973	973		963	953
	10～12月	251	246	246	○		
	3か月比	2018年	98%	98%		97%	96%
受託廃ペットの出荷量の向上	トン	471	476	452		480	485
	10～12月	120	121	112	×		
	3か月比	2018年	101%	96%		98%	97%
水道水の削減	m^3	430	421	510		417	417
	10～12月	108	106	220	×		
	3か月比	2018年	98%	204%		97%	97%
顧客件数の増大	件	120	121	132		122	124
	10～12月	108	30	33	○		
	3か月比	2018年	101%	31%		102%	103%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成　×未達成　　達成状況は取組活動期間10～12月の評価

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	10～12月未達成。
・空調温度の適正化(冷房28℃　暖房20℃)	○	従業員数が増え、業務量増大により電気の使用量が増えた。
・不要照明の消灯	△	目標値は継続して、より一層、節電意識を高め、電気使用量の削減に
・ノー残業デーの実施	△	取り組む。
・クールビズ、ウオームビズの実施	○	

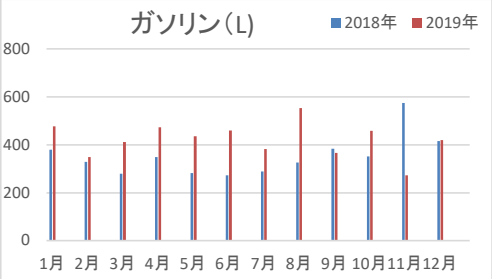


取組紹介欄

啓発シールを電源元付近に掲示し、エアコンのリモコン等に温度設定のシールを貼り周知しています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	1,010	821	986	758	765	646	768	986	976	711	784	838
2019年	1,007	830	821	828	871	725	794	1,258	1,150	918	1,010	955

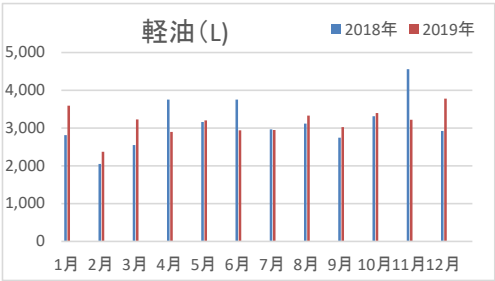
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	10～12月期間達成。
・エコドライブ10のすすめの徹底	○	社員全体で回収ルートの見直しを図り、取組については達成できた。
・効率的なルートで収集	○	事業拡大の影響もあり目標値は未達。今後も、エコドライブ10のすすめなどにより一層の周知徹底を行い、二酸化炭素削減に取り組む。
・効率よく作業を行うために計画周知	○	



取組紹介欄

エコドライブ普及推進協議会が提供しているA4ポスター「エコドライブ10のすすめ」を全運搬車両にのせています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	380	329	280	349	282	273	289	326	384	352	575	416
2019年	477	349	411	473	436	460	382	553	367	458	273	419

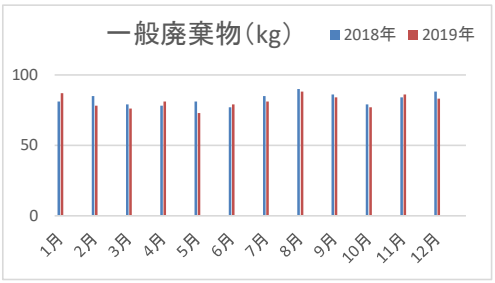


取組紹介欄

効率的なルートで収集運搬できるように、検討しています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	2,816	2,052	2,552	3,755	3,160	3,753	2,967	3,121	2,750	3,319	4,565	2,925
2019年	3,590	2,372	3,234	2,895	3,200	2,942	2,954	3,331	3,027	3,399	3,227	3,779

自社の一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	10～12月期間達成。
・分別の徹底	○	可燃ごみ、不燃ごみの分別は徹底できた。帳簿や帳票も一部を電子化し、紙の無駄遣いを削減できた。今後も一層力を入れていきたい。
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	4MY活動は、徐々に周知はできている。
・4MY活動の推進	△	

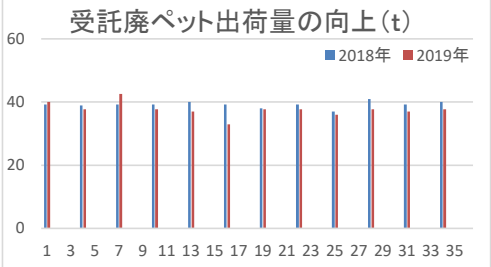


取組紹介欄

4MY活動(マイ箸、マイボトル、マイバック、マイコップ)の一環でお箸は自分用を持参しています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	81	85	79	78	81	77	85	90	86	79	84	88
2019年	87	78	76	81	73	79	81	88	84	77	86	83

受託廃ペットの出荷量の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	10～12月期間未達成。
・排出先の分別徹底の依頼	○	季節的な原因で利用量が減ったと推測できる。これを向上させるには、第1に排出元での分別をはたらきかけることになる。次いで自社での分別の徹底である。分別したくなるようないろいろな工夫を考えていく必要がある。
・選別の徹底	△	
・リサイクル先の開拓	×	

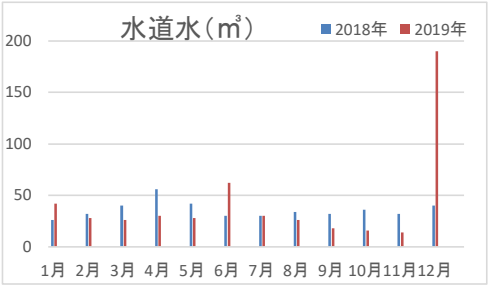


取組紹介欄

受託廃ペット排出先を開拓していきます。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	39	39	39	39	40	39	38	39	37	41	39	40
2019年	40	38	43	38	37	33	38	38	36	38	37	38

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	10～12月期間未達成。 水道管の漏洩を早期発見できず、また12月に隣接する工場の工事に伴い水道を貸していた為、大幅な増加となった。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・井戸水の活用	○	
・漏水点検	○	



取組紹介欄
啓発シールの掲

蛇口のある場所には節水の啓発シール、またトイレ用の啓発シールを掲示している。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	26	32	40	56	42	30	30	34	32	36	32	40
2019年	42	28	26	30	28	62	30	26	18	16	14	190

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検	○	取組期間中の毎日出庫時には、車両点検を行い整備不良がないか確かめることができた。また、アイドリングストップの徹底や空ふかしをしないように呼びかけしている。
・収集時の取り残しを削減	△	
・環境に配慮した廃棄物処分	○	
・地域環境に配慮する	△	

顧客件数の増大	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		10～12月達成。 こまめに声をかけて増加できた。お客さんからの紹介を重視していきます。
・営業力の強化	○	
・ホームページによる顧客獲得	○	

□環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	許可証、契約書、マニフェスト、マニフェスト交付状況等報告書
大阪府条例（流入車規制）	収集運搬車
騒音規制法	特定建設作業の事前届け出：指定地域内、工事開始7日以前
振動規制法	特定建設作業の事前届け出：指定地域内、工事開始7日以前
オフロード法	重機の日常点検、定期点検
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検
建設発生土処分場指定要綱	報告書、関連条例による土壌検査26項目
消防法	自家用火災警報装置、消火器
橋本市との災害時廃棄物協定	災害時発生一般廃棄物の処理に関する協定

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：　火災の発生	
■実施日：　2019年12月23日	■実施場所
■参加者：　代表取締役　環境管理責任者　環境委員会 EA21事務局　事務員　従業員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練
■評価：	手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし
今回の火災発生訓練は、収集運搬中にパッカー車内の収集運搬ごみから火災が発生したと仮定し行なった。従業員は、速やかに手順書通りに行うことができた。	
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2019年12月25日

今回エコアクション21の活動を通じて、目標は達成には及ばなかったが、二酸化炭素の排出量を把握する事でコスト削減につながり、エコ活動を通じて疎かになっていたエコ意識を再度見つめなおす事が出来た。
まずは社員一人ひとりがより一層エコアクション活動に重きをおき、アイドリングストップ・４ＭＹ活動と向き合うことで新たな課題とチャンスが生まれてくると思います。
来年度は目標達成によって、経費削減、地域貢献、従業員のキャリアアップの推進を目標にエコ活動を行っていきたいと思います。エコアクション21を通じて働きやすい職場環境・笑顔あふれる地域創りを創ります。近隣との調和をすすめていきます。

□これまでの環境活動の紹介

弊社では、One for All,All for Oneの精神で業務やエコアクションの活動をしています。みんなが一丸となり、節水やごみの削減、車両から発生するＣＯ２の削減等に取り組んでいます。節水をするにあったて、社用車、工場内の清掃をする時には井戸水を使用しています。収集運搬時には、アイドリングストップを常に意識し、燃料の節約をするとともにＣＯ２排出を抑えようと心がけています。社内のごみを減ら為に、４ＭＹ活動の一環として飲み物、箸を持参しごみの排出も減らすように努力しています。また、エコアクション２１の取得に向け、家庭や公共施設でもＣＯ２削減を意識しています。地域の清掃活動にも積極的に参加し地域住民とコミュニケーションも図り、地域社会と連携しています。

環境管理責任者　窪田

ごみの収集運搬時に効率よく回収できるよう回収ルートの見直しや運搬車両の台数を減らすことにより車両から発生するＣＯ２排気量を削減に努めています。また、回収以外で車から離れる際には、アイドリングストップを行っています。週に2.3回会社周辺の道や溝を掃除をしたり、地域の清掃活動に参加し地域と連携して美化活動を行っています。

環境委員会　中村

工場内では、使わない重機はエンジンをこまめに切るようにしています。洗車をする時には水道水を使わずに井戸水を使うように意識しています。必要ない灯りは、消すようにし日中は自然の光で業務をするようにしてＣＯ２削減に努め、1日のスケジュールを確認して無駄な時間を減らせれるように考えながら、業務を行っています。今回のエコアクションの活動を通して、プライベートでもエコを意識するようになりました。

産廃部　木村

□編集後記

エコアクション21の活動に際し、皆様からのご協力をいただき、環境レポートを無事発行することができました。環境レポートを作成する過程で、環境についてたくさんのことを知ることができ、また考えさせられました。社内でも、収集運搬ルートの確認や、経費の見直しなど「環境にやさしい」をテーマに考え直すことができました。ご協力・ご支援いただきました皆様に深く感謝いたします。今後とも、社内全体で「環境にやさしい」を考えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

EA21事務局　中山　翔太